総合・国際　韓国法相が辞任　4面
特　集　挑む2020・広がるパラスポーツ　19面
スポーツ　ラグビー日本　準々決勝へ始動　23面
社　会　目黒虐待死 父に懲役13年　35面
社説　被災者支援／千曲川の氾濫　5面

東　信　避難所マッサージ提供
北　信　市民から災害ごみ続々
中　信　旧開智学校などに被害
諏　訪　2年連続の停電に疲労
飯田伊那　高齢者の見守りへ訓練
地域ニュース26－29面


2019年（令和元年）
10月16日
水曜日


台風19号　関連記事
「適切な堤防」が決壊　2面
高齢者逃げ遅れ なぜ　3面
製造業・農業に打撃　6・7面
写真グラフ　32面
生活基盤 復旧長期化も　34面
「まさか道の真ん中に」　35面
台風19号 生活情報　33・地域面


# 県内死者3人 浸水8000戸

## 台風19号 不明2人 1081人避難

台風19号の記録的な大雨の影響で、千曲川が氾濫して冠水した長野市赤沼では、14～15日、男女2人の死亡が確認された。今回の台風による県内の死者は3人となった。行方不明者は少なくとも2人おり、県警などは15日も捜索を続けた。けが人は同日時点で重傷4人、軽傷8人。県のまとめと信濃毎日新聞の取材を総合すると、県内の床上、床下浸水は8千戸以上に上る見通し。同市穂保の千曲川の堤防決壊現場では復旧作業が急ピッチで進んでいるが、今も浸水している住宅地や農地がある。

復旧工事が急ピッチで進む長野市穂保の千曲川の堤防決壊現場＝15日午前10時17分（河川管理者らの承諾を得て小型無人機で撮影）

赤沼では14日、近くの西沢孝さん（81）が自宅で心肺停止の状態で見つかった。市内の病院に搬送されたが午前10時14分、死亡が確認された。

15日午前7時40分には、女性（69）が自宅近くの屋外で倒れているのを自衛隊が発見、同日午後4時25分、死亡が確認された。女性は2階建ての自宅で弟と2人暮らしで、被災当時は1階にいたとみられる。

県災害対策本部関係者によると、この2人の死因は溺死。死者はほかに、佐久市中込の中島正人さん（81）。

一方、佐久市入沢で12日夕に外出したまま連絡が取れていない男性は14日、会社員三石重正（みついしげまさ）さん（68）と判明。家族によると、12日午後5時40分ごろに「土のうを取りに行く」と言って軽トラックで出掛けて連絡が取れなくなり、捜索願を出した。服装は透明なカッパに白っぽい作業ズボンを着ていた。

東御市では12日午後7時ごろ、千曲川の田中橋近くの道路が陥没して車3台が転落し、1台の少なくとも1人が行方不明になっている。当初、車には3人乗っていたとの情報があったが、同乗者はいなかった可能性が高いことが判明。14日午前11時ごろには、上田署員が同橋から約2キロ下流の千曲川河川敷で転落した車とみられる沼津ナンバーのプレートが付いたバンパーを発見。同署は、流されたのは静岡県沼津市在住の男性（72）とみて捜索している。

ナンバープレートは男性の親族が確認した。同署によると、男性は12日、東御市内の親族を訪ねた。上田市の親族を訪ねると言って1人で乗用車を運転して親族宅を出たまま連絡が取れなくなった。

県警本部（☎0120・0・197）、県危機管理防災課（☎026・235・7184）が情報を募っている。

同対策本部によると、県内の家屋被害は15日午後3時時点で全壊4戸、半壊1戸、床上浸水2237戸、床下浸水1443戸。この他、長野市は床上、床下浸水について調査中だが、計4800戸ほどに上る見通し。国土交通省北陸地方整備局は15日、長野市の北陸新幹線車両センターを含む地域の浸水は約84%が解消したと発表した。

県内の避難者は15日午後3時時点で長野市や佐久市、須坂市など11市町村で計1081人。

内閣府は14日、塩尻市、諏訪郡原村、下高井郡野沢温泉村に新たに災害救助法が適用されたと発表。適用は13都県315市区町村（長野県内は44市町村）となった。

## 全国 死者73人

記録的な大雨をもたらした台風19号により、東日本の広い範囲で甚大な被害が出ている。共同通信の15日の集計で、死者は12都県の73人に上った。行方不明者は14人とみられる。国土交通省によると、決壊した堤防は7県の52河川73カ所に上り、捜索や復旧作業を急いでいる。大規模な浸水被害があった宮城県丸森町では道路陥落により一部集落が孤立、被害の全容はなお見通せない。内閣府によると、15日午後2時半時点で13都県の5008人が避難生活を続けている。

台風の影響による都県別の犠牲者数は福島県が最も多く、26人が死亡。うち6人が、いわき市で亡くなった。次いで神奈川県14人、宮城県では13人が死亡している。

浸水した地域の水深は国土地理院の推計によると、水戸市の那珂川流域で最大約7・2㍍に達した。阿武隈川では福島県国見町川内付近で最大約5・2㍍。

国交省によると、土砂災害は19都県で計170件。

総務省消防庁によると、住宅の床上浸水が5785棟、床下浸水は4177棟。電力各社によると、15日午後9時現在で8県の約1万7千戸が停電。厚生労働省のまとめでは、12都県の12万8千戸超で断水中という。

## 緊急ルポ 千曲川氾濫
## 「家が見当たらない」

「家が見当たらないよ」―。台風19号に伴う千曲川の氾濫で、市街地の親戚宅に避難していた長野市穂保の団体職員吉村智之さん（55）は13日朝、県外に暮らす長女が無料通信アプリを通じてスマートフォンに送ってきたニュース映像に目を凝らした。堤防が決壊して、濁流にのまれる穂保地区一帯が映っていた。だが、堤防近くにあるはずの自宅が、すぐには見つからなかった。

【35面に続く】

## 「あずさ」再開 月末ごろ
### 中央道・国道20号にも通行止め区間

### 北陸新幹線 1～2週間で全線再開

JR東日本は15日、長野市赤沼の車両センターの浸水で、長野―金沢間の運行に支障が出ている北陸新幹線（長野経由）の東京―金沢間の全線再開は少なくとも1～2週間かかると明らかにした。長野―上越妙高間で信号関係の電源装置の復旧に時間がかかると判断した。15日から東京―長野間と上越妙高―金沢間で、本数を減らし、全席自由席で折り返し運転を開始。全線再開後も運転本数は通常の5～6割になる見通しという。

また、同社は、線路内への土砂流入があり高尾（東京都八王子市）―大月（山梨県大月市）間で不通となっている中央東線で、「あずさ」「かいじ」などの特急の運行再開は10月末ごろの見込みと発表。16日は塩尻―大月間で普通のみの運転となる。中央道や、東京と山梨をつなぐ国道20号も通行止め区間があり、中南信から首都圏へのアクセスに支障が出ている。山梨県によると、国道20号は18日にも復旧予定。国交省は中央道の復旧は約1週間かかる見通しとした。

JR飯山線は線路内の流入土砂の影響で復旧に時間がかかり、小海線も小諸―野辺山間が線路下の土砂の流出で運休。ともに運転再開は11月上旬から下旬になるという。

篠ノ井線、大糸線は、運転を再開している。中央西線の特急しなのも15日、長野―名古屋間の全線で運転を再開した。

上田電鉄（上田市）別所線も15日、列車と代行バスによる運行を開始。増水で13日に落下した千曲川の鉄橋の復旧や、本運行の再開は見通しが立っていない。しなの鉄道は、しなの鉄道線上田―田中間と、北しなの線長野―妙高高原間で運休している。

東日本高速道路によると、佐久市香坂の上信越道下り線で路面のひび割れが見つかり、対策工事のため佐久インター―松井田妙義インター間上下線の通行止めを少なくとも10日ほど行う見込み。

中部電力によると、長野県内は15日午後8時時点で約9700戸が停電している。県によると、15日正午時点で県内7市町村の4040戸で断水が続いている。

県教育委員会と県のまとめによると、15日の台風被害に伴う公立・私立校の休校は小中学校が25校、高校は23校。

長野地方気象台によると、16、17日の県内は日中に晴れ間が広がるが、朝の最低気温が平年より低く、平地でも10度以下になる可能性がある。同気象台は体調管理に気を付けるよう呼び掛けている。

## 斜面

2019.10.16

千曲川の水に潰かった長野市赤沼で、きのうまでに高齢の犠牲者が見つかった。逃げ遅れた人がいないのがせめてもの救いかと願ったが、痛ましい事態である。ある車いすの男性は水の中で長時間救助を待ち、低体温症になったという◆災害は弱い人にほど過酷だ。被災地に追い打ちをかける冷え込みも恨めしくなる。一昨日、千曲川をさかのぼると上流域の被害も深刻だった。鉄橋が落ちた上田市。橋の崩落で行方不明者が出た東御市。護岸が崩れて市道もろとも家屋が流された佐久市◆上流域は湿った気流が関東山地にぶつかると大雨になりやすい。今度の台風19号は大雨の範囲が中流域にも及び、勢力の強大さを示した。目についたのは支流の被害も大きいことだ。短い川も濁流があふれ出し、橋や道路が崩落した。電気や水道のない生活を強いられた所も多い◆支流域はとりわけ高齢・過疎化が深刻で、かつての災害で発揮された「助け合い」の機能が衰えている。佐久市の滑津川沿いでは、高校生が使えなくなった泥まみれの家財道具を運び出していた。気力もなえそうな被災者には、ありがたい助っ人だろう◆各地でボランティアが動きだしている。弱った地域力を広範囲から参加する善意の力で支えられるといい。それぞれの立場でできることはあるはず。もちろん「共助」ばかりを強調してはなるまい。行政の「公助」が被災地再生の鍵になる。こうしてほしいと、はっきり声を上げなくては。


論をつなぐ　社説・建設標　5面
教育・ＮＩＥ　11面
文化・芸能・小説「白鯨・Moby-Dick」　13面
くらし　15面
スポーツ　21－25面
おくやみ・囲碁将棋　31面
テレビラジオ　17・36面
こと映えは休みました



信濃毎日新聞
1873年（明治6年）創刊
発行所
信濃毎日新聞社
長野本社　〒380-8546
長野市南県町　657番地
電話（026）
受付236-3000編集236-3111
販売236-3310広告236-3333
松本本社　〒390-8585
松本市中央　2丁目20番2号
電話（0263）
代表32-1200　報道32-2830
販売32-2850　広告32-2860

©信濃毎日新聞社2019年


ORGAN
ORGAN NEEDLE FOR SEWING, KNITTING & FELTING
オルガン針
www.organ-needles.com


天気　最高気温　最低気温

| | 最高気温 | 最低気温 |
|---|---|---|
| 飯山 | 19 | 6 |
| 長野 | 20 | 8 |
| 大町 | 19 | 6 |
| 松本 | 21 | 9 |
| 上田 | 22 | 9 |
| 佐久 | 20 | 9 |
| 諏訪 | 20 | 10 |
| 木曽 | 22 | 9 |
| 伊那 | 23 | 10 |
| 飯田 | 23 | 11 |

5%以上　5%未満

28面に詳しい天気情報


素肌乾燥情報　カサカサ注意　しっとりの3段階
北部 注意　中部 注意　南部 注意



信毎ホームページ
www.shinmai.co.jp
購読のお申し込み
0120-81-4341
紙面の問い合わせ
編集応答室　026-236-3111
本社見学・出前講座
読者センター　026-236-3215

# 「適切な堤防」が決壊

## 国交省の調査委 現地調査を開始
## 「越水と侵食で決壊の可能性」

①13日午前0時55分　右側が千曲川

②13日午前1時10分　左側の千曲川の水が堤防を越えているのが分かる

③13日午前2時15分　千曲川の水が勢いよく堤防を越えて流れ落ちている

### 長野市穂保 堤防を越える水

国交省北陸地方整備局（新潟市）は15日、長野市穂保に設置し、千曲川の様子を写していたカメラの画像を信濃毎日新聞に公開した。撮影ができなくなった13日午前2時20分までの5分ごとの画像。①は右側が千曲川、②③は撮影方向が切り替わり左側が千曲川。13日午前1時の画像から川の水が堤防を越える様子が写っており、最後の③では堤防を越える水の勢いが増している。

【画像は提供】

長野市穂保の決壊現場を視察する調査委員ら（左側）＝15日午後2時

千曲川を管轄する国土交通省北陸地方整備局（新潟市）は15日、台風19号による大雨で起きた長野市穂保の堤防決壊と、上田市諏訪形の堤防欠損した原因を検討する調査委員会を設置し、現地を調査した。長岡技術科学大教授（長岡市）の大塚悟委員長は長野市での堤防決壊について「越水と侵食で決壊した可能性があり得る」と指摘した。

調査委員会は有識者7人で構成。この日の調査では、堤防決壊と堤防欠損の現場を訪れ、堤防の地質や被害状況を確認した。長野市の決壊について大塚委員長は、堤防上を水が越える「越水」に加え、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」も起きていたとの見方を示した。ただデータが少ないため、詳しい原因については「今後の調査ではっきりさせていく」とした。

### 千曲川の整備 まだ途上

千曲川の堤防決壊を防ぐため、国は「信濃川水系河川整備計画」を2014年に策定していた。1983年に飯山市戸狩地区で大きな被害をもたらした規模の雨が降っても、決壊や越水の防止をすることが目的だ。計画では、川の断面を広げ、より多くの水を流せるようにするための作業も盛り込まれていたが、現時点では完了していなかった。

計画は2044年ごろまでを整備期間としているが、決壊が起きた堤防自体は1984年に完成。一帯の堤防の幅は200㍍ほどあり、川の規模からみて、適切な堤防という。

ただ同整備局が15日に発表した速報値によると、千曲川の立ケ花地点から上流域の2日間の平均雨量は、26（昭和元）年の統計開始以降で最大だった。

同整備局の岡本弘基河川調査官は「83年と同規模の雨が降ると、現状の整備では耐えられない」と認める。千曲川の流量を多くするなど、計画全体を進めていかないと今回のような被害が起きると浮き彫りになった形だ。

調査委は今後も調査を続けるが、いつ調査結果や対策を打ち出せるかは未定。岡本調査官は今後も大雨は想定できるとし「今回の件を踏まえた対策を検討し、早く整備を進めていきたい」としている。

同局によると、長野市穂保では13日午前0時55分ごろに越水が始まった。堤防の住宅側ののり面が削られ始め、午前2時20分ごろには堤防脇の支柱に付けてあったカメラ画像が途切れた。その後も水量は増え続け、同局の千曲川河川事務所（長野市）の職員が現地を確認した午前5時半ごろまでの間に決壊した。

約7㌔下流の立ケ花水位観測所（中野市）は、午前3時20分に今回の最高水位（12・46㍍）に到達。1983（昭和58）年の洪水時に観測した最大水位11㍍余を超え、2014年に策定した千曲川の河川整備計画で想定した水位を超過した。

同整備局の岡本弘基河川調査官は「83年時を大幅に上回る水量となり、決壊に至ってしまった」としている。

一方、大塚委員長は上田市の堤防欠損について一帯では川の流れが速いとし「侵食によって削れていって欠損したタイプ」と明言。現場の川の流れは真っすぐではなく、堤防の方に向かって流れたため、「堤防の侵食が著しく進行したと思われる」とした。

---

## 千曲川本流 決壊・越水17カ所

台風19号による大雨で、千曲川本流で堤防の決壊や欠損、川の水が堤防を越える越水した地点は少なくとも計17カ所に上っていることが15日までの県のまとめで分かった。内訳は、国管理が12カ所、県管理が5カ所。

県によると、千曲川の越水が発生したのは、長野市、上田市、須坂市、中野市、東御市、南佐久郡佐久穂町、上高井郡小布施町、下水内郡栄村の8市町村。支流では長野市の浅川、上田市の依田川など18カ所で越水した。

他に護岸の崩落、陥没も17カ所で確認。佐久市が7カ所、上田市が6カ所、東御市が2カ所で発生。他に長野市、南佐久郡南牧村、南佐久郡小海町であった。

**越水が起きた千曲川の支流**

| | |
|---|---|
| 佐久市 | 滑津川、片貝川（2カ所）、吉沢川、中沢川 |
| 軽井沢町 | 泥川 |
| 上田市 | 依田川、湯川、武石川、産川、尾根川 |
| 千曲市 | 更級川 |
| 須坂市 | 八木沢川 |
| 長野市 | 岡田川、赤野田川、蛭川、古海川、浅川 |

---

被害「まずまずに収まった」

## 二階氏一転 発言を撤回

自民党の二階俊博幹事長は15日夕、台風19号の被害が「まずまずに収まった」とした13日の発言を事実上撤回した。党本部で記者団に「被災地の皆さまに誤解を与えたとすれば、表現が不適切だった」と述べた。15日午前の記者会見では「撤回するもしないもない」と明言を避けていたが、野党からの批判が相次ぎ、方針転換を余儀なくされた格好だ。

同時に、今後は同様の表現を使わないとした上で「発言には気を付けたい。災害には人一倍、先頭に立って取り組んできた。復旧に全力を尽くしたい」と強調した。

二階氏は13日の党緊急役員会で「予測に比べると、まずまずに収まったという感じだ。それでも相当な被害が広範囲に及んでいる」と言及。会合後、被害が軽いとの趣旨ではないと釈明した。

### 生活の再建や復旧に全力を

参院予算委員会は15日午前、台風19号の被害に関する緊急の審議を行った。野党側で最初に質問した立憲民主党の杉尾秀哉氏（県区）は「現場は今なお大量の水と泥に埋まっている」と訴え、施設の復旧や住民生活の再建に全力を尽くすよう政府に求めた。

杉尾氏は千曲川の堤防決壊について「大規模に落ち、前後がえぐられている危険な状況だ」と復旧作業の加速を要請。赤羽一嘉国土交通相は全国で発生した決壊被害に対して24時間態勢で排水に当たっているとし「緊張感を持って被災地に寄り添った形で進める」と述べた。

台風による災害廃棄物について小泉進次郎環境相は「ポイントは生活圏内から早急に撤去すること、仮置き場での適正な分別と保管、広域処理を含めた円滑な処分の3点」と説明。長野県などに環境省の職員を常駐させ、現地支援の態勢を強化しているとした。

杉尾氏はまた、自民党の二階俊博幹事長が13日の党会合で台風被害について「予測に比べると、まずまずに収まった」と述べた点を批判。受け止めを聞かれた安倍晋三首相は「発言の全体を承知していないのでコメントは控える。私は行政府の長として災害の復旧復興に全力を挙げている」と応じ、かみ合わない一幕があった。安倍首相はその後、「この程度であれば良かったということは全くない」とした。

# 高齢者逃げ遅れ なぜ

## 千曲川決壊

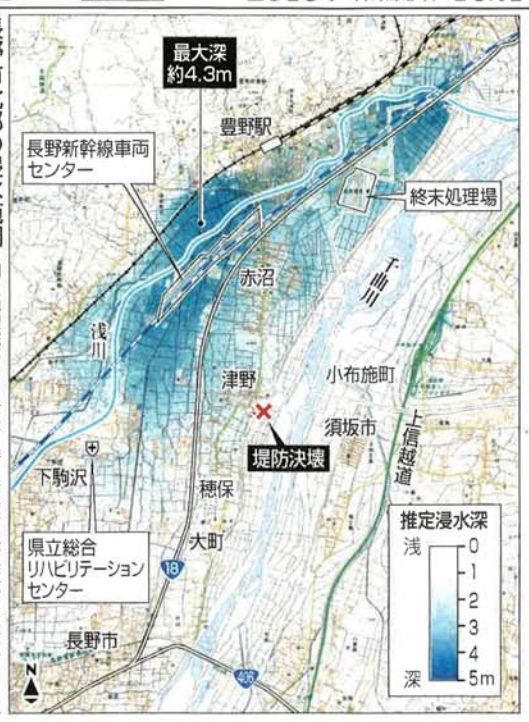
## 長野市長沼地区 2人死亡

## 夜の洪水 危機感鈍らせたか

## 市の情報伝達にも課題

台風19号による洪水に見舞われた長野市穂保の千曲川の堤防決壊付近の長沼地区で、犠牲者が出た。気象庁や行政は事前にたびたび警戒情報を出していたものの、失われた尊い命。避難住民の証言などをたどると、洪水発生が夜間だったことが、危機が迫っている認識を鈍らせた可能性がある。高齢者の避難を促す難しさも浮かんだ。周辺では無事救出されたものの、一時孤立した住民や入院患者らもおり、行政側の情報伝達にも課題を残した。【1面参照】

台風19号の影響で浸水したリンゴ畑を捜索する自衛隊員＝15日午後3時33分、長野市津野




長野市北部の浸水範囲（国土地理院が13日午後1時までの情報で作成した資料による）

### 新幹線センター付近 最深

#### 長野の浸水 国土地理院が暫定推定図

国土地理院（茨城県つくば市）は15日までに、長野市北部の千曲川で堤防が決壊した現場周辺の浸水状況について推定図（暫定版）を公表した。被災者らがツイッターに投稿した写真を参考に、標高と照らし合わせ、範囲や水深を推定。浸水の深さは、同市赤沼の長野新幹線車両センター近くの浅川左岸側で、最大約4・3㍍に達したとみている。

国土地理院応用地理部が13日午後1時までに収集した情報でまとめた。0～5㍍の水深で色分けして表示した。

ただ国土地理院応用地理部は、参考にしたツイッターの投稿は5～10件だったとして「あくまでも推定の範囲」と説明。今後、上空から撮影した写真などのデータと合わせて精度を向上した推定図を作成し、発表する方針だ。

### 激甚災害に 指定の方針

政府

安倍晋三首相は15日、台風19号の被災地復旧などに2019年度予算の予備費を活用する考えを明らかにした。同日午前の非常災害対策本部会議で「必要があれば補正予算も含め、しっかり財政措置を講じる」と述べた。政府は台風19号を激甚災害に指定する方針で、必要な調査を急ぐ。

政府は災害対応に追われる被災自治体が資金不足に陥らないようにするため、11月に予定している普通交付税の配分を前倒しする方針。

首相は15日午前の参院予算委員会で「被災者へのきめ細かな支援は急務だ。今後、生活や経済活動への影響が長期化する懸念もある」と語った。

激甚災害に指定されれば、復旧事業の国庫補助率がかさ上げされ、被災自治体の財政負担が軽くなる。首相は14日の対策本部会議で「被災自治体が全力で復旧対策に取り組めるよう、激甚災害に指定する方向で調査を進める」と表明した。

### 長野市北部の警報や避難指示などの経過

（長野市、国土交通省などによる）

【12日午後】

1時40分　国交省千曲川河川事務所と長野地方気象台が千曲川の氾濫注意情報

3時30分　長野地方気象台が長野市全域に大雨特別警報

6時　千曲川河川事務所と長野地方気象台が氾濫危険情報。長野市が赤沼地区などに避難勧告を出し、古里小などに避難所を開設

11時40分　千曲川が堤防越水の可能性があるため、長野市が赤沼地区などに避難指示

【13日午前】

0時45分　浅川が「内水氾濫」を起こす危険性が高まり、長野市は赤沼地区などに避難指示

1時ごろ　浅川の内水氾濫始まる

1時15分　千曲川河川事務所が長野市穂保地区で千曲川の氾濫発生と発表。その後、決壊

11時5分　長野市が下駒沢地区に避難指示

近隣地区の公民館に設けた対策本部で、住民の安否確認や行政との調整を行う長沼地区の住民ら＝14日午後3時、長野市小島

西沢さんは夜、地区にある防災行政無線が、雨音に混じって警戒を呼び掛けるのを聞いた。「緊急」「放送」などと言葉が聞こえたが、あまり危機感を感じなかったという。だが、日付が変わった直後、危機は急速に高まっていった。

13日午前0時45分、千曲川の水位が高いため浅川が流れ込めずにあふれる「内水氾濫」の危険も高まり、市は赤沼地区に再び避難指示を出す。直後に内水氾濫し、さらに2時過ぎから明け方にかけて自宅から2㌔弱の穂保地区で千曲川が決壊した。

午前3時か4時ごろ、西沢さんが外を見ると道路に水があふれていた。「車で逃げてももう駄目だ」と2階へ避難。1984（昭和59）年に堤防が強化されており、「安心していた。まさか千曲川が切れるとは思わなかった」とも話す。

ボートで救出された赤沼の深瀬良平さん（93）は、1人暮らし。近所の人から避難を促されたが、家に残った。「耳も遠いし、知らない人ばかりの避難所にも行きたくなかった」。13日朝、自宅の庭にすごい勢いで水が流れ込み、まもなく自宅の1階が水につかった。

耳が遠く、補聴器がないと会話がおぼつかない深瀬さん。「今思えば、近所の人と一緒に早めに避難していれば…」と話す。

◇

一方、地域の中には警戒を強め、早めに避難した人たちもいる。同協議会の柳見沢宏会長（67）は、12日午後4時半に同地区の区長らでつくる対策本部を穂保地区の市役所長沼支所に設置。9時40分までそこにいて、その後避難した。

柳見沢さんは自身も堤防の決壊を予想できなかったとしつつ、「（住民の中で）『避難しなくて大丈夫だ』と過信してしまう状況があったのかもしれない」と悔やむ。

「死者だけは出さない目標でやってきたのだが…」。市危機管理部門トップ、鎌田富夫危機管理防災監は15日の取材に沈痛な表情を浮かべる。

◇

市は11日午後4時に災害警戒本部を設置。12日に災害対策本部に切り替え、以降、各地区に避難勧告を出した。

加藤久雄市長は13日、千曲川の決壊は想定外だったとした。「越水すれば（水量が）ばらけて、一部に災害が集中しないと思っていたが、『途中から大変なことだと覚悟した』とする。

「長野市長 加藤久雄です」という書き出しから始まる緊急の呼び掛けメッセージを市が発したのは、13日午前2時23分。同時に同報無線で市長が肉声で「命を守る最善の行動をとってください」と呼び掛けた。無線などが聞こえない人や移動弱者などが逃げ遅れることを想定したためだ。

ただ、穂保地区の西隣の下駒沢地区への避難勧告、避難指示は遅れた。地区内には県総合リハビリテーションセンターがあり、施設の入所者19人と病院の入院患者38人が一時取り残された。

長野市は気象庁から提供される雨量や、雨がどれほど土中に染み込んだかの土壌雨量などのデータから計算して、土砂災害の危険が高まれば、他の地区同様に避難勧告を出す態勢を取っていた。ただ、下駒沢地区については今回、「予測に時間がかかってしまったかもしれない」（鎌田危機管理防災監）。加藤市長も「反省するところだ」と述べた。

# 東信 暮らしを直撃 台風19号

台風19号による記録的な大雨は住民生活を直撃した。堤防が決壊し、鉄橋は落ち、大きな爪痕を残した。

千曲川支流の氾濫で横転したとみられる軽トラック＝13日午前10時７分、佐久市中込の市下水道管理センター

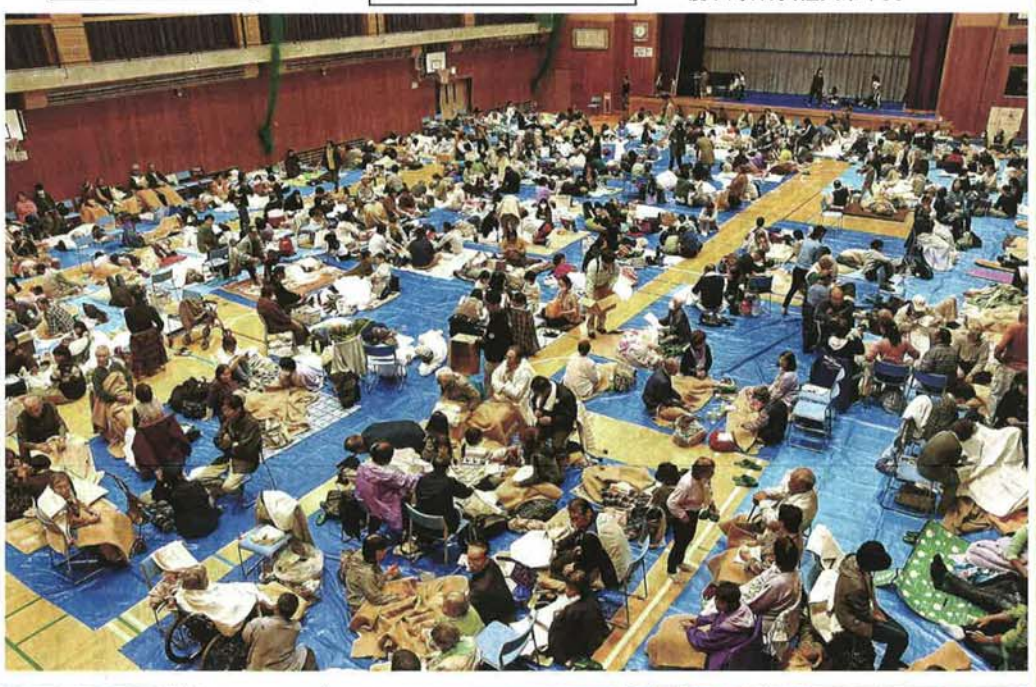
## 東御市布下 給水車出動

断水のため給水車から水を受ける住民。「トイレも使えない。水がないと何もできない」＝13日午前８時50分、東御市布下

## 佐久城山小に避難

多くの避難者が身を寄せた佐久市佐久城山小学校の体育館＝12日午後７時17分、佐久市平賀

落下した上田電鉄別所線の鉄橋（奥）を見つめる人たち。「見慣れた鉄橋がこんなことになってしまうなんて」と切なそうに話す人も＝14日午前10時38分



運休していた北陸新幹線が運行を再開。乗車券を求めて窓口に長蛇の列ができた＝14日午前10時37分、上田市のＪＲ上田駅

千曲川の水が堤防を越えて流れ込んだ上田市国分の住宅地で、発生したごみを回収して回る市の収集車＝14日午後１時45分

決壊した志賀川沿いの堤防。重機で補強する作業が続いた＝13日午後２時11分、佐久市志賀

護岸がえぐられてマンホールがむき出しになった谷川沿いの道＝13日午後１時13分、佐久市入沢


## 東信

上田支社 ☎0268-23-1200 fax. 23-1202
〒386-0018 上田市常田2-35-10

東御支局 ☎0268-62-4181 fax. 62-4189
〒389-0516 東御市田中178-17

佐久支社 ☎0267-62-2141 fax. 62-2533
〒385-0035 佐久市瀬戸1203-1

小諸支局 ☎0267-22-0480 fax. 26-1286
〒384-0023 小諸市東雲1-1-11

軽井沢支局 ☎0267-42-2536 fax. 42-9120
〒389-0102 北佐久郡軽井沢町 軽井沢471-5

おかげさまで30年
シーメンス 補聴器の相談室
ニッショー補聴器センター
ご自宅に出張致します！
〈長野店〉長野市柳町72-1 TEL.026-217-2228
〈松本店〉松本市双葉12-57 TEL.0263-31-3366


## きょうの番組

**UCV1上田121**
6.00 UCVレポート
6.30 おおきくなあれ 田中保育園
6.40 おはなしランド
7.00 第1回真田塾 太陽系の起源を探る旅
8.50 スポーツだより
17.00 UCVレポート

**UCV2上田122**
6.00 上田三中 合唱コンクール
8.00 上田四中 合唱コンクール
10.00 東御市民大学講座

**丸子テレビ121**
6.15 旬菜の滋味 再8時15分、11時半 18時15分、21時15分 21時45分
9.00 丸子婦人バレーボール大会・エイコーン一エレガンス 再13、19、22時
15.00 理学療法フェスタ2019
18.00 ケーブルニュース再18時半、21時、21時半

**とうみチャンネル**
6.00 Weekly！とうみ 東御市内の話題（再）再12、18時
9.00 ちょこっとずくだし 元気探し研修会 目指せ！素敵な認知症ライフ！？ 堀内ふきさん（再） 再15、21時
番組前15分テレビ回覧板

**はれラジ／FMとうみ78.5**
7.00 いってらっしゃい
7.40 東御・長和・立科 行政情報
9.00 音楽の森
10.54 ワンダフルハウジング
11.00 COCOらじ
12.00 ランチBOX天・図
12.40 東御市行政情報
16.30 ままやきラジオ
17.00 mizu曜日は晴れ
18.40 東御市行政情報
19.00 今うわさのあの人

**CTK12chこもろ**
6.30 キラリ★青春 ～技術部～
6.55 ぐるっとふるさと信越
7.30 商工会議所旬鮮情報
8.30 ぴよぴよくらぶ
8.50 TV版広報こもろ
18.30 CTK[N]&WIDE

**佐久ケーブルテレビ**
7.00 てんこもり佐久平
7.30 生放送★SAKUいち [N天]・佐久情報満載！
8.00 けーぶるにっぽん 躍動！JAPAN
10.00 交通安全音楽祭
10.30 ともに生きる佐久
12.10 SAKUいち
13.00 とことこ39
15.30 園児の素顔・総集編
17.30 みんなのラーメン 長野ケーブル制作
19.00 望月小学校運動会※蓼科ケーブル制作

**TCV12ch蓼科**
8.00 ぐるっとふるさと 図書室だより 再正午、17、19時
9.00 立科町戦没者追悼式
20.00 望月中学校若駒祭2 演劇部発表ほか

**YKTV12ch南牧**
6.30 社協マレットゴルフ大会、一週間のお知らせ 再 再12時半
18.30 戦没者追悼式 再20時半、22時半

**エフエム佐久平 76.5**
6.40 マーチング取材番組
6.50 山口先生マーチング
11.00 鈴木カオリのラジコン
16.00 平木円香のごあした
18.30 俊智の新地球シンフォ
19.00 MUSICCROSS
19.30 MO鉄ちゃん鉄分補給
21.00 THE NITE

**FM軽井沢 77.5**
8.00 モーニングサラダ [N]・[天]・ABC・図 お知らせ
12.00 スマイルデイズ 富山情報 [N]・[天]・図
17.00 トワイライトアワー [N]・[天]・図・サル
18.00 Keep Calm

# 北信

## 長野市、篠ノ井と松代で受け入れ本格化

# 市民から災害ごみ続々と

### きょうから新たに豊野でも

長野市は15日、同市篠ノ井塩崎の篠ノ井運動場と、同市松代町西条の青垣公園運動場で、災害で発生した家庭ごみの受け入れを本格的に始めた。篠ノ井運動場では、ごみをいっぱいに積んだ市民の軽トラックが入り口から列を作り、水にぬれたソファや布団、食器棚などを次々と運び入れていた。16日以降も続けるほか、同日から新たに同市豊野町大倉の豊野東山第一運動場でも受け入れる。

篠ノ井運動場では「不燃物」「可燃混合物」「家電」「畳」など9種類に分別し、ごみを積み上げた。同市篠ノ井会の酒井文彰さん(18)＝松代高校3年＝は自宅1階が浸水し、2階に逃れて助かった。15日は剣道部で使った竹刀や、家庭で利用していたホットプレートなどを搬入。「きょうは学校を休んだ。高校の近くも被災したと聞き、心配だ」と話した。

市生活環境課によると、16日の受け入れ時間は午前9時半～午後4時半の予定。篠ノ井地区でもう1カ所の受け入れを検討している。今後、長野広域連合のごみ焼却施設「ながの環境エネルギーセンター」（長野市大豆島）などで処理する。

浸水被害で壊れた家具などを運び入れる市民ら＝15日午前10時15分ごろ、長野市篠ノ井塩崎の篠ノ井運動場

## 台風19号 生活情報

15日時点、変更の可能性があります

▽長野市

【避難所】（指定避難所）豊野東小、東条小、古里小、豊野西小、豊野西小児童センター、長野運動公園、南長野運動公園、北部スポーツ・レクリエーションセンター、昭和の森フィットネスセンター、（自主避難所）松代支所、篠ノ井総合市民センター、古里総合市民センター、豊野北公民館（15日時点）

【ごみ受け入れ】篠ノ井運動場（篠ノ井）、青垣公園運動場（松代町）、豊野東山第一運動場（豊野）。それぞれ午前9時半～午後4時半

【下水】古里、柳原、長沼、若槻、朝陽、若穂、古牧、吉田、大豆島、豊野、松代のそれぞれ一部で受け入れ停止

【ボランティア受け付け】日野地域公民館（☎026・246・2276）

【下水】上八町と下八町を除くほぼ全域で受け入れ停止。冠水地域などに仮設トイレを設置。バキュームカー処理で対応

▽小布施町

【避難所】老人福祉センター桃源荘、飯田地区の公会堂

【入浴】小布施温泉あけびの湯（☎026・247・4880）

【ボランティア受け付け】町社会福祉協議会（町民・町内勤務の人限定、☎026・242・6665）

【下水】東町、上町、中町、伊勢町、中央、中扇、横町、福原、栗ガ丘、大島、飯田、林、山王島、水上、松の実、千両、クリトピア、古川、の家、かがやきひろば豊野。いずれも当面の間

【支所】長沼支所と豊野支所が業務停止。住民活動などの相談は市地域活動支援課（☎026・224・7615）

【保健センター】豊野保健センターが業務停止。当面、東部保健センターで対応。市保健所健康課（☎026・226・9963）

【休園】長沼保育園、豊野みなみ保育園（保育は他施設で）

【放課後子ども総合プラン】長沼児童センター、松代花の丸児童センターが被災。長沼小、豊野西、豊野東小学校の区域は19日まで実施しない。松代小の区域は他施設で通常実施。市こども政策課（☎026・224・6796）

【外国人相談窓口】市国際交流センター（☎026・223・0052）

【災害ボランティアセンター】（☎090・4945・8342、090・4945・8442）

▽千曲市

【避難所】旧更埴庁舎保健センター、健康プラザ

【ごみ受け入れ】名月荘跡地、窪山展望公園、被災した19の区・自治会ごとに集積場所を開設し順次回収

【ボランティア受け付け】市社会福祉協議会（☎080・5072・9750）

▽金融機関

北信の主な金融機関の浸水などによる臨時休業は、八十二銀行豊野支店（長野市豊野町豊野）、長野信用金庫豊野支店（同）、県労働金庫更埴支店（千曲市杭瀬下）。15日午後5時現在、いずれも復旧

# 中信

## 台風19号 松本にも爪痕

### 旧開智学校と松本城総堀の石垣に被害

石垣が崩れているのが確認され、シートで応急処置をした松本城の総堀＝15日午後2時55分、松本市

しっくいの一部（写真中央）が剥がれ落ちた旧開智学校校舎の八角塔屋＝15日午後3時21分、松本市

松本市教育委員会は15日、国宝旧開智学校校舎（同市開智2）の外壁の一部と、松本城の最も外側にあり、国史跡になっている総堀（同市丸の内）の石垣の一部がそれぞれ壊れているのを確認した。12日夜に県内に最接近した台風19号の影響とみている。同校舎では、八角塔屋の校舎裏側部分のしっくいが剥がれ落ちた。2件の被害とも、市教委は県教委を通じて文化庁に報告し、修繕方法を協議する。けが人はいない。

同校舎では、15日朝に出勤した職員が被害を確認。剥がれ落ちた部分の大きさは、高さ50㌢、幅160㌢。横なぐりの雨で、しっくいが浮いたことなどが原因とみられるという。同校舎学芸員の遠藤正教さん(35)は「雨にぬれないように応急措置を考えたい」とする。公開は通常通り続ける。

松本城の総堀は、幅約10㍍、高さ約1・7㍍、奥行き約50㌢にわたって石垣が崩れた。15日朝、市松本城管理事務所に住民から連絡があり、判明。同事務所によると、13日の点検時には異常はなかったという。同事務所の原文彦城郭整備担当課長は「国の指示も受けながら修理していきたい」としている。

## 松本藩校「崇教館」テーマに人形飾り

### きょうからお城まつり

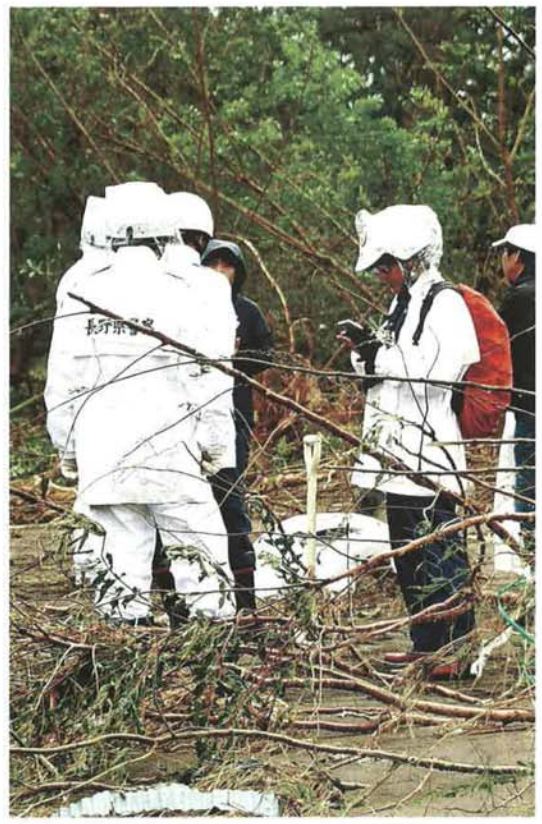
人形飾りを準備する一真会のメンバーたち

松本市の松本城本丸庭園で16日に始まる「第63回お城まつり」を前に15日、恒例の人形飾り物展の準備が進められた。今年は城の近くにある旧開智学校校舎が国宝に指定されたことから、開智学校の前身で松本藩校の「崇教館」がテーマ。1794（寛政6）年、松本藩主の戸田光行が藩士たちを前に、藩校に「崇教館」と額を掲げることを認めた場面を10体の人形で再現している。

制作と飾り付けは「穂高人形保存顕彰一真会」が担当し、約2カ月かけて準備した。同会長の藤原国広さん（安曇野市穂高）は「これまでは合戦など〝動〟の場面が多かったので、〝静〟の場面は難しかった」と話す。

お城まつりは、二十六夜神例大祭や少年少女武者行列、本丸庭園の無料公開がある11月3日がメインで、10～11月に関連イベントを行う。11月4日までの人形飾り物展の他に、古式砲術演武（10月25日～11月8日）などもある。

市松本城管理事務所の小原稔さん(52)は「春や夏に比べ観光客が少なく、落ち着いた気分で城を見られる時季。さまざまなイベントも楽しんでほしい」。問い合わせは同事務所（☎0263・32・2902）へ。



**14日** 陥没した道路から流され、行方不明となっている男性の車のものとみられるバンパーを確認する上田署員ら＝14日午後1時43分、東御市の千曲川河川敷

**15日** 外壁が崩れ、コンクリートブロックが流れ込んだ長沼体育館。奥では決壊した千曲川の堤防の復旧工事を行っている＝15日午前9時20分、長野市穂保

# 元の暮らし いつ

**14日** 中古車販売店から国道18号に流され横転した車＝14日午前10時10分、長野市穂保

**14日** 孤立し停電していた賛育会クリニックから救助される患者＝14日午前7時21分、長野市豊野町

**14日** 一時孤立した病院から患者を搬送するために待機する救急車＝14日午前7時半、長野市豊野町

**15日** 避難所に届けられた積み木で遊ぶ小学生＝15日午前9時46分、長野市の北部スポーツ・レクリエーションパーク

**14日** 被災した住宅の片付けを手伝うボランティアら＝14日午前9時59分、佐久市中込

**14日** 崩落した東御市の市道。奥の海野宿橋とつながっていた＝14日午前11時45分、東御市の海野宿

## 長野市赤沼の「クリーンピア千曲」

# 下水処理 復旧作業開始

台風19号による千曲川の堤防決壊で浸水し、処理を停止している長野市赤沼の終末処理場「クリーンピア千曲」で15日、周囲の水がほぼ引き、復旧作業が始まった。県は週内に簡易処理による再稼働を目指すと明らかにしたが、水没した設備が順調に復旧するかは不透明。施設を利用する長野市、須坂市、上高井郡小布施町、高山村は、行き場のない汚水が下水道管からあふれるのを防ごうと、住民に節水を呼び掛けている。

県千曲川流域下水道事務所によると、同処理場は13日早朝から最大2メートル余り浸水し、職員ら計19人が14日午後まで孤立。設備は水をかぶり、水槽内で水の汚れを分解する微生物も流されたとみられる。処理のため汚水をくみ上げる2台のポンプは、地下約20メートルの場所に水没したままだ。

県生活排水課は「仮のポンプを設置し、18日か19日の再稼働を目指す」とする。ポンプが動けば、最低限、汚水を塩素消毒して千曲川に流す「簡易処理放流」ができると説明する。災害など非常時に認められる暫定措置という。

ただ、小林功所長は「土砂を含んだ水が順調に排出できるか、不安もある」。仮設ポンプを動かす電源設備の早期確保も見通せないという。

汚水処理量は1日あたり約5万立方メートル。同課は「太い下水管は直径2メートルあり、ある程度は汚水をためられる」とするが長野市豊野や赤沼などでは15日、逆流した下水がふたの隙間から噴き出しているマンホールが複数確認できた。

長野市上下水道局は13日から、下水管からバキューム車で汚水を吸い出して同市営の「東部浄化センター」へ運ぶ対策を実施。14日からは下水管をつなぎ替え、汚水の一部を同センターで処理し始めた。クリーンピアの再稼働まで受け入れる考えだ。須坂市や小布施町、高山村もバキューム車で他の処理場に汚水を振り分け始めているが、運べる量が少なかったり、振り分け先の施設に余力が足りなかったりする。

県などは風呂の水を洗濯やトイレを流すことに再利用するよう呼び掛けている。

国道18号に近い長野市村山のマンホールで下水をくみ上げるバキューム車＝15日正午すぎ

## 罹災証明 県内市町

県内各市町村が、台風19号で住宅被害が出た住民からの「罹災（りさい）証明書」の申請手続きを受け付け始めている。被害の程度を証明する書類で、火

---

浸水家屋の片付け

避難所生活

# 手袋や長靴・マスクを 栄養偏りで体調不良に

千曲川氾濫などの被災地で始まった後片付けや避難所生活での留意点について、県健康福祉部に聞きました。

**Q** 浸水家屋の片付けに適した服装は。

**A** 感染症やけがの予防を第一に、肌を露出させず、手袋や長靴で作業を。土ぼこりと一緒にレジオネラ菌などを吸い込む恐れがあり、必ずマスクを着け、ゴーグルなどで目も守ってください。

**Q** 作業の注意点は。

**A** 戸や窓を開けてよく換気を。壁や床などはしっかり清掃、水拭きし、病原菌を増やさないよう乾燥させることが大切です。傷口から細菌が入り、破傷風にかかる恐れもあり、特に50歳以上は破傷風の予防接種を受けていないとされます。けがをしたら傷口を十分洗い、医師に相談してください。脱水状態にならないよう気をつけ、作業後は手をよく洗ってください。

**Q** 避難所での健康管理は。

**A** 食事はおにぎりやパンなど炭水化物が多くなりますが、栄養が偏ると便が出にくいなど体の不調につながります。高齢者は特に、心身の機能が低下する「生活不活発病」に要注意です。

**Q** 衛生対策は。

**A** 多くの人が共同生活する場所は感染症が広がりやすく、インフルエンザの流行やノロウイルスなどの食中毒も心配な季節です。手洗い、うがいをしてマスクを着用しましょう。慣れない場所で女性や高齢者は特にトイレの使用をためらいがちですが、水分補給は控えないで。くみ置きの水道水を飲む場合は早めに使ってください。

**Q** 自家用車に避難する人もいます。

**A** 狭い場所に一日中座っていると血行不良が起こり、エコノミークラス症候群の恐れが高まります。じっとしていると気持ちもふさぎがち。小まめに外に出て体操をしたり、足のマッサージをしたりしてください。

### 家屋・家具の消毒と感染症対策

| | |
|---|---|
| 床上浸水 | ・汚れた床・壁、家具は水を流したり水拭きしたりして十分乾かす |
| | ・食器や調理道具は水で洗って汚れを落とす |
| | ・下水が家に入った可能性があるときは消毒液を使う（誤飲を防ぐため、ペットボトルなどに移さない） |
| 床下浸水 | ・可能なら水で洗い流す |
| | ・床下や家の周辺の汚泥を取り除く |
| | ・床下の水は雑巾などに吸わせ、換気して乾かす |
| 食中毒・感染症対策 | ・片付けの際は手袋とマスクを着用（ほこりを吸わない） |
| | ・作業後、食事前、排便後は手を洗う |
| | ・できるだけ加熱した食品を食べる |
| | ・停電で冷蔵できなかった食品はできるだけ廃棄 |
| | ・体調不良を感じたら早く医療機関へ |
| その他 | ・水に漬かった形跡のある電気製品はコンセントから電源プラグを抜き、使用しない |

---

# 台風19号 生活情報

地域面にも詳しい情報 15日現在、変更の可能性があります

## 鉄道

▽北陸新幹線（長野経由）は当面、本数を減らして東京―長野間で折り返し運転（全線復旧には1～2週間かかる見込み）。

▽中央東線の特急あずさは運休（再開は10月末の見込み）。中央東線の普通は塩尻―大月間で運転。中央西線の特急しなのは長野―名古屋間で通常運転。小海線は、野辺山―小淵沢間で運転（野辺山―小諸間の再開は11月上旬以降の見込み）。飯山線は運休（再開は11月下旬以降の見込み）。

▽しなの鉄道は、長野―上田間と田中―軽井沢間は始発から運転。上田―田中間と長野―妙高高原間（長野―豊野間は18日から再開見込み）は運休。上田電鉄別所線は、下之郷～別所温泉間で列車、上田駅～下之郷間で代行バスを運転する。

## 道路

【通行止め】（15日午後7時時点、県警交通管制センターまとめ）

▽上信越道松井田妙義インター（IC）―佐久IC間

## 高速バス

▽長電バス（長野市）は16日、長野―池袋間を走る池袋線の全便を運休。17日以降は、通常より1往復少ない計4往復で運行を再開する。上信越道佐久インター―松井田妙義インターの通行止め区間では一般道に迂回（うかい）。

## 航空

▽フジドリームエアラインズ（FDA）は16日も松本空港発着便を通常運航予定

## 通信

**▽携帯電話障害、関東甲信や東北で**

NTTドコモ、KDDI（au）、ソフトバンクの携帯電話大手の3社は15日、台風19号の影響で、関東甲信、東北地方で携帯電話がつながらないか、つながりにくい通信障害が発生していると発表した。停電や通信回線の故障が原因で、復旧作業を進めている。

3社共通の障害エリアは宮城、福島の東北2県、群馬、長野のそれぞれ一部。ドコモは山梨、神奈川の一部（15日午後6時半現在）、KDDIは東京、千葉、岩手の一部（同午後6時現在）、ソフトバンクは神奈川、千葉、茨城、栃木の一部（同午後5時現在）でも障害が続いている。

## 宅配便

▽ヤマト運輸は東北信の30市町村で集配を止めていたが、15日、長野市内の被災地を除く地域で、通常の常温荷物のみ集配を再開した。

## 金融機関

▽被災者の相談は八十二銀行、長野銀行、長野信用金庫、上田信用金庫、県信用組合、県労働金庫、県JAバンク、松本信用金庫、諏訪信用金庫の各営業店、日本政策金融公庫と商工中金の県内支店などで受け付けている。八十二銀行、長野信金、県信組、日本公庫、商工中金は被災者を対象にした融資の取り扱いを開始。県信用保証協会は被災事業者向けの特別相談窓口を設け、保証料を低減した特別保証を取り扱っている。

## 各種相談窓口

▽影響を受けた県内事業者向けの運転資金や融資制度などの相談窓口。10県地域振興局の各商工観光課と、県産業立地・経営支援課（☎026・235・7200）で午前8時半～午後5時15分。

▽被災した事業所の休業に関わる助成金や雇用保険などの相談窓口。県内各地の公共職業安定所（ハローワーク）で午前8時半～午後5時15分。長野労働局（☎026・226・0865）

▽県行政書士会は17日から、被災者の生活に関する無料電話相談（☎0120・064222）を始める。内容は、被災した自動車の廃車手続きや生活再建に向けた相談全般。受け付けは、平日午前9時～午後5時。

▽県精神保健福祉センターは、被災によるストレスや不安感、気分の落ち込みなど、心に関係する相談を受ける。平日の午前8時半～午後5時15分に同センター（☎026・227・1810）へ。各地域の保健福祉事務所や長野市保健所も相談を受ける。

▽県多文化共生相談センター（☎080・4454・1899）が16日午前10時～午後6時、外国人からの電話相談を受け付ける。

## 情報提供

▽県防災ツイッター（https://twitter.com/bosainaganopref）。中国語や英語にも対応

## 催しの中止

▽「街路樹の日」推進大会（18日、長野市）

▽信濃グランセローズ・ファン感謝デー2019（19日、中野市）

## その他

▽県警は11月末まで、被災者を対象に県内3カ所の運転免許センターの日曜窓口でも免許証再交付を受け付ける。即日再交付する。受付は午前10時～午前11時半と午後2時～午後4時。10月20日と11月3、17日は、北信運転免許センター（長野市、☎026・292・2345）と東信運転免許センター（佐久市、☎0267・53・1550）で、10月27日と11月10、24日は中南信運転免許センター（塩尻市、☎0263・53・6611）で受け付ける。健康保険証やパスポートなど身分証明書（身分証明書が用意できない場合は各センターに相談）、申請用写真（東北信のセンターでは800円で撮影可能。中南信のセンターは撮影できない）、手数料3500円が必要。平日は午前8時半～午前10時と午後1時～午後2時に通常通りに受け付ける。各警察署でも受け付けるが、交付までに3週間ほどかかる。10月22日は「即位の礼」のため受け付けない。

▽北陸信越運輸局（新潟市）は15日、車検証の有効期間満了日が今月15～28日となっている被災地域の車両について、有効期間を29日まで延長すると発表。対象車は29日までに車検を受ければ引き続き使える。同局技術課（☎025・285・9155）へ。

**▽プロパンボンベ、ソーラーパネル流失に注意**

県産業労働部は15日、被災地でプロパンガスのボンベが多数流失しているとして、見つけた場合はボンベに明記してある販売店に連絡するよう求めた。

県環境エネルギー課は、水没・浸水した太陽光発電システムの機器に触れると感電の危険があると警告する経済産業省の説明文を県のホームページで紹介。

パネルは光が当たると発電するほか、集電箱やパワーコンディショナーといった周辺機器も感電や発火の恐れがある。水が引いた後も見つけた際は触れないよう周囲への呼びかけや、復旧作業でも慎重を期すよう求めている。

**▽保険証、処方箋なくても可**

台風19号の被災者が保険証や薬の処方箋がなくても支障なく医療サービスを受けられるようにするため、病院などの関係機関は特例対応を実施している。厚生労働省が15日までに全国の都道府県などに通知。自宅が浸水し保険証をなくしたり、着の身着のままで避難したりした人に配慮した措置だ。厚労省担当者は「重症化しないよう早めに受診してほしい」と呼び掛けている。

---

被害認定の目安（木造戸建ての場合）

# 生活基盤 復旧長期化も

護岸もろとも崩れた千曲川沿いの木工所＝15日午前11時半、佐久穂町高野町

## 「ショックなんてもんじゃない」

### 東信地方 道路や鉄道寸断

台風19号が猛威を振るった12日夜から13日にかけ、東信地方では千曲川や支流が濁流となって橋や道路、ため池に大きな被害をもたらした。生活道路や観光地への道、鉄道も寸断。ライフラインの復旧は長期化しそうだ。

15日午前8時20分ごろ。上田市の国道18号大屋交差点では、渋滞する車列の隣を子どもたちが歩いて追い抜いていった。3、4キロ東の東御市で玄関口。東御市によると、下方の千曲川堤防が破損して市道の一部も崩れ、観光客用の駐車場も被害を受けた。「観光客はゼロ」。農産物や土産物などを扱う栗林大貴さん(26)は3連休最終日の14日、店先でこぼし、規制の長期化を懸念した。

田中橋付近では車3台が転落し、行方不明者も出ている。上田市武石地域でも武石新橋が一部崩落。2トントラックが転落し、けが人が出た。迂回路がなく、268世帯586人が孤立状態に陥った。同市真田町長の神川に架かる四日市橋のたもと付近も崩れ、通行規制。東御市では生活道路の橋が複数崩落し、うち鹿曲川に架かる切久保橋は水道管が通っていた。420戸で断水が続く。

南佐久郡佐久穂町大日向の抜井川沿いは、国道299号に15日も土砂が堆積していた。90代の女性が一人で暮らしていた木造2階建て住宅は裏山から押し出した泥流で全壊状態。女性は当時不在で事なきを得た。40代女性は、地面から1メートル余り泥に潰かった自宅に「予想はしていたが、まさかこんなにとは…」。

同町曽原地区では曽原川沿いに3カ所あるため池の大半が土砂で埋まった。町は一時、ため池が決壊する恐れがあるとして同地区に避難勧告を出した。町民が避難した生涯学習館「花の郷・茂来館」では、15日で4連泊となる大日向の80代女性が「冬物の服は全てやられた。眠れない」。

同町高野町の千曲川沿いの木工所は護岸がえぐり取られて半分ほど崩れ、旋盤などの加工機械も失った。経営する丸山精一さん(82)は「ショックなんてもんじゃない。再建は別の場所を考えなくては」と嘆いた。

佐久市では14日、田口の蕃松院の裏山で地滑りの危険性があるとして住民に避難を促した。15日に県などが地滑りではないと判断し家に戻れたが、裏山の墓地は倒木などが散乱。檀家の鷲見和人さん(78)は「土砂や材木、他の人の墓石と一緒になってぐちゃぐちゃ。悲しい」。南佐久郡川上村は秋山、居倉、原、大深山の4地区のかんがい施設の取水口が土砂で埋まったり、破損したりした。

たもと付近が崩れた東御市の田中橋＝14日

### 別所線の鉄橋崩落
### 上田電鉄が代行バス

千曲川増水で上田市街地と塩田平を結ぶ鉄橋が崩落した上田電鉄別所線は15日朝、下之郷―上田間で代行バス運行を始めた。東御市内で寸断されたしなの鉄道利用者には、長野方面への通勤で新幹線に切り替える人もいた。

午前7時、別所線下之郷駅前では通勤客ら8人がバスに乗り込んだ。上田市富士山の市職員、工藤秀樹さん(58)は市役所に向かうため「普段よりも時間に余裕を持って家を出た」。代行バスが動いてほっとした表情を見せた。

しなの鉄道のしなの鉄道線上田―田中駅間の運休は、海野宿橋崩落が理由。千曲川の護岸が大きくえぐれ、橋の土台の土砂が流出、残る橋脚が崩落する可能性があり「安全性が確保されていない」（経営企画課）と判断した。

県上田建設事務所が応急対策工事を進めているが、復旧のめどは立っていない。橋の土台部分を工事するには千曲川の流れを変えての工事が必要。狭原公寿・整備課長は「できるだけ早く進められるよう努力している」と説明する。

佐久地方はJR小海線が運休、しなの鉄道も途絶。長野方面への鉄路は新幹線のみとなり、佐久平駅の切符売り場に行列ができた。佐久市の男性(61)は小海線中込駅から小諸駅でしなの鉄道に乗り換えて長野市内の会社に通勤。新幹線通勤は高くつくため「会社に相談しているが負担してくれるか」とぼやいた。

破損した武石新橋に仮設橋が設けられ、下校する小学生や物資を運ぶ住民らが行き来した＝15日午後3時半

## 上田で一時孤立
## 橋渡り支援の手

### 記者ルポ 武石 住民が物資

上田市武石の武石川に架かる県道美ケ原公園沖線「武石新橋」。台風19号で一部崩落し、県が仮設歩道を設けた15日、現地を訪ねると、孤立状態に陥った集落の親戚を助けようと、下流側に多くの車が集まっていた。

上流には268世帯が暮らす上本入、下本入の二つの集落がある。だが、橋が使えなくなり、事実上、孤立。宅にしばらく身を寄せるといい、「今日は仕事を休んだ。復旧工事を急いでほしいが、もう流されないようにしてほしい」と口にした。

15日夕、迂回路の通行止めが解除され、孤立は解消された。ただ市街地までは、美ケ原高原などを経由し、1時間ほどかかるという。仕事帰りの比田井八重子さん(66)は2人の孫と落ち合い上流側へ。武石小3年の香凛さん(8)は普段はバス通学だが、この日は橋から学校まで歩いた。1年の心那さん(6)は「遠かった。工事が大変そうだけれど頑張ってほしい」。同校によると、教職員が登下校に付きそうという。

（大久保 みちる）

## 軽井沢停電 なお3000戸

台風19号が通過した12日以降、一時は県内最多の約1万4千戸が停電した北佐久郡軽井沢町では15日午後6時段階でも3千戸余りで続いた。町内で停電が続くのは追分、軽井沢、峠町など。倒木で電線が切れたり傷ついたりした場所が多く、山あいに電線がある地域は復旧が遅れそうという。町は役場など9カ所でスマートフォンなどを充電できるよう電源を開放。15日には電力会社の協力で役場の充電設備を増やした。同町発地など100戸余は停電で一部の下水処理設備が停止。仮設トイレを設けるなどした。

15日、同町長倉で電線に引っ掛かった倒木の処理を見ていた地元の女性(70)は、自宅の風呂が使えず有料の温泉施設で入浴していると言い、「早く自分の家のお風呂でゆっくりしたい」と話した。

## 浸水の校舎 泥を掃除

### 千曲川流域 生徒駆け付け手伝いも

連休明けで本来なら登校風景がみられたはずの15日朝、氾濫した千曲川流域では小中学校、高校が軒並み休校となった。長野市内で浸水被害のあった学校では、教職員が泥をかき出したり、ごみを片付けたり・生徒たちが手伝いに駆け付ける学校もあった。

床上浸水があった同市松代中では、1、2年生約200人が校舎を掃除した。14日にPTAを中心に130人ほどで泥をかき出し、保護者を通してメールで呼び掛けた。

生徒たちは教室や職員室、トイレなどをそうきんがけし、泥を拭き取った。2年生の丸山敦士さん(13)は汚れた校舎に驚いたといい、「自分たちが通う学校だから、元の状態に戻せるようにしたい」。同校は18日の授業再開を目指している。

同市東北中でも教職員10人ほどが1階の職員室の荷物を上の階に運んだ。人手はその後30人ほどに増え、生徒の被災状況の把握と、校内の片付けに着手。足を取られながら、ごみを集めたり、床の泥水を掃き出したりした。

浸水で電気や水道、トイレが使えないといい、加瀬浩明校長は「学校再開の見込みは分からない」。吹奏楽部が今週末に全国大会を控えているといい、「予定通り出場させたい」と話していた。

避難所になっている同市豊野西小では15日午前、教員らが通学路を安全点検したり、児童の状況確認をしたりした。

泥水が引いた校舎の廊下をぞうきんで拭く生徒たち＝15日午前10時、長野市の松代中

新聞定価1ヵ月3,400円（うち消費税 251円）1部150円（消費税込み）　第三種郵便物認可

# 「まさか道の真ん中に」

## 自宅流され「長い苦しい戦いに」

緊急ルポ 千曲川氾濫（上）

長野市穂保

堤防決壊現場のすぐ近くに暮らす吉村さんの家には、妹や80代の両親が暮らす母屋と、吉村さん夫妻の新宅とがあった。台風19号の接近で、吉村さんは12日午後9時ごろ、長野市中心街の妻智恵子さん（55）の実家に一家で避難した。

長女から連絡があったのは翌13日朝。気はかり焦ったが、自宅周辺は茶色い濁流にのまれ近づけそうにない。状況が落ち着いたかに思えた14日、「実感が湧かない」（智恵子さん）まま自宅に向かう一家に、私も同行させてもらった。少し離れた公園に車を止めて歩き出した。一帯は予想以上に深く水に漬かったままで、途中から進めるのは吉村さん一人になった。

吉村さんはぬかるみに足を取られながら、自宅に続く道を曲がった。思わず足が止まった。前方には大量の土砂と崩れかけた住宅。変わり果てた街の風景。まず目に入ったのは車庫のシャッターはぼろぼろ。自家用の軽自動車がなかった。母屋の庭には大量の土砂。車庫まで進めば、その奥に新宅が見えるはずだった。

「いやあ、きれいさっぱり。こんなに広かったんだ」。新宅は基礎が残るだけ。土蔵にあったトラクターは横転。農機具小屋も見当たらない。はた目にはさばさばした様子で、スマホで何度もシャッターを切っていた。

母屋にも泥が入り、畳がめくれ、たんすやテレビ、冷蔵庫などが倒れていた。床上1・5㍍ほどの所に水が漬いた跡。「神棚だけは無事だ」。目を閉じ、手を合わせた。

新宅を探し始めた。10分ほど歩き、近くの寺の角を曲がった先に、新宅はそのままあった。母屋から直線距離で約150㍍の市道上。「粉々になるか、ひっくり返っているかと思ったけど、まさか道路の真ん中にあるとは」。淡々としていた。

吉村さんは15日も、智恵子さんと新宅を見に行き、通用口のドアから家具を乗り越え、中に入った。屋根が崩れ、屋内は土砂にまみれていた。「予想以上」。智恵子さんの声はショックを隠すためか、明るかった。2階から着替えだけ持ち帰った。

吉村さんは泥や水を少しずつスコップで取り除いたり、荷物の整理をしたりを夕方まで続けた。その間にも、建物の傾きが大きくなってきたようだと二人は言った。これからどうやって普通の生活に戻していくか。「長い、苦しい戦いになる」と、吉村さんがつぶやいた。（黒岩 美怜）

◇

千曲川の堤防決壊で冠水した地域では、他にも多くの住民がぬかるみの中を自宅の様子を確かめに訪れた。

自衛隊ヘリで救助され、避難先から自宅を訪れた長野市穂保の吉村義典さん（64）は「位牌も流された。火災保険の書類も見つからず、元の生活に戻るにはだいぶんかかりそう」。同市穂保の会社員山口崇文さん（49）は、門から玄関先の間に大量の泥がたまり、「家に入れないと片付けもできない」。同市赤沼のパート従業員田中恵子さん（59）は、孫（5）に買っておいたランドセルが無事で「よかった」と持ち帰った。

流された新宅（左）前の吉村さん。大きく壊れた部分は母屋と結ぶ渡り廊下だった＝15日午後2時、長野市穂保

矢印下から上へ押し流された吉村さんの家。左下は決壊した千曲川堤防＝15日

## ボランティア 続々と

こんな時こそ力に―。千曲川氾濫による浸水被害などを受けた東北信各地で14、15日、ボランティアが動きだした。泥をかぶった家屋の片付けを手伝ったり避難所で炊き出しをしたり。県社会福祉協議会によると15日までに上田、佐久、長野、中野、千曲、須坂、飯山市と南佐久郡佐久穂町、北佐久郡立科町、下水内郡栄村の10市町村が災害ボランティアセンターを設けた。

「これは運び出しちゃっていいですか」。長野市松代温泉の松田理（さとる）さん（68）宅で14人理事長川上哲也さん（56）が声を掛けた。メンバー10人ほどが長野県社協を通じ、1階が50㌢ほど床上浸水した家で家具や家電の運び出しを手伝った。床下にたまった泥もバケツですくい取る姿に、松田さんの妻、恵子さん（68）は「荒れた家を見た時はあぜんとして体が動かなかった。本当に助かる」と感謝した。

佐久市でも市社協が14日にボランティアの受け付けを始め、市民ら約230人が同市中込杉の木地区などで住宅の泥かきなどに汗を流した。佐久長聖高校2年の足立涼太君（17）は「いてもたってもいられなかった。できる限りのことをしたい」。

避難所で食事を振る舞う飲食店も。長野市の北部スポーツ・レクリエーションパークでは14日、市内の鉄板焼き料理店が焼きそばを作り、配った。同パークで開催予定だった子ども向けイベントに出店するつもりだったが催しは中止。社長の小林博文さん（51）は「こんな時こそ鉄板焼き屋の出番」と熱く語った。

## 急な寒さ 身寄せ合い

台風19号の猛威で千曲川流域が氾濫して丸2日たった15日、長野市の避難所ではいまだ家に戻れない被災者が連休明けの朝を迎えた。長野の最低気温は11・6度。約110人が身を寄せた同市三才の北部スポーツ・レクリエーションパークでは、大型ストーブなどで暖をとった。

両親と避難している同市大町の女性会社員（48）は、ブルーシートに毛布を敷いただけだった当初よりは良くなったとしつつ、「あまり眠れなかった」。いつになったら家に帰れるのか、持病があるという傍らの父親の体を案じた。同市三才の馬島久子さん（76）は「毛布をいっぱい掛け、たくさん着てるので大丈夫」。きょうは家の様子を見に行ってみたいと語った。

この朝は長野高専（長野市）の若者たちが豚汁を炊き出しした。4年の堀内朝陽さん（19）は避難所の荷物を運んだり、子どもの遊び相手にもなったり。「避難者の表情から先々への不安を感じる。少しでも力になれたらうれしい」と話していた。

市によると、市内では午後6時現在、指定避難所9カ所と自主避難所4カ所に計686人が避難している。

冷え込んだ朝。避難所で身を寄せ合う人たち＝15日午前7時35分、長野市の北部スポーツ・レクリエーションパーク

**那珂川浸水 最大7.2㍍**
**阿武隈川は5.2㍍**

国土地理院は15日までに、台風19号の大雨による河川流域の浸水について、那珂川では、水戸市の常磐自動車道水戸北スマートインターチェンジ南側で、深さが最大約7.2㍍に達したとの推計を明らかにした。阿武隈川では、福島県国見町川内付近で最大約5.2㍍。6河川について、浸水範囲や深さを色付けした地図を地理院ホームページで公開している。